

情報化社会の新たな問題を考えるための教材 ～安全なインターネットの使い方を考える～

文部科学省では、学校における情報モラルに関する指導の一層の充実を図るため、教師が指導する際に役立つ児童生徒向けの動画教材と手引書を作成しております。令和2年には、インターネットやスマートフォン利用者の低年齢化を踏まえ、新たに2本の動画教材を作成しました。

本教材の構成

- ◆動画教材（導入編・解説編）
- ◆手引書（シナリオスライド・モデル指導案・板書例・ワークシート例・アンケート例・カード教材）

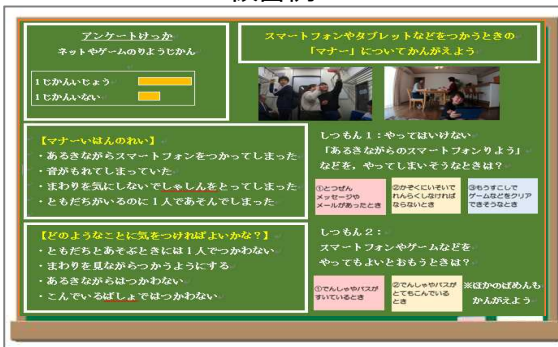
シナリオスライド



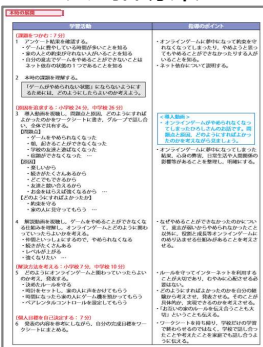
ワークシート例



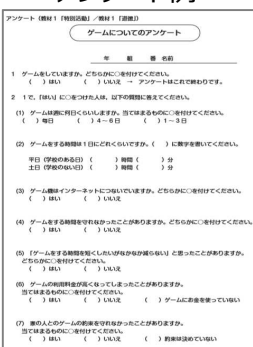
板書例



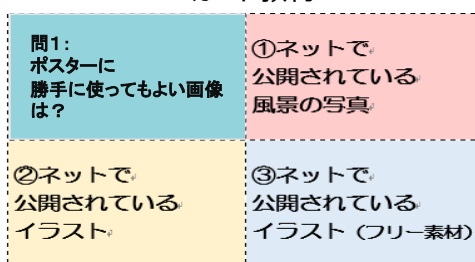
モデル指導案



アンケート例



カード教材



※動画を視聴した後に、グループ活動等で「範囲」や「程度」を考えさせるカード教材を導入

動画教材

5つのテーマに対応した18の動画教材
 （令和2年に作成した動画については右記⑰⑱，
 平成26年，平成28年，平成31年に作成した動画については裏面参照）

※動画教材と手引書は下記ホームページ「情報モラル教育の充実」に掲載しております。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1369617.htm

⑰スマートフォンやタブレットなどの利用マナー

◆教材のねらい◆

対象:小学1年生～小学4年生

スマートフォンやタブレットなどの利用者の低年齢化に伴い、使いすぎとともに問題となるのが、歩きながらのスマートフォン利用、



音漏れ，迷惑な写真撮影などの「マナー」の問題である。本教材では、他者のマナー違反を考えることで、スマートフォンやタブレットなどの利用マナーについて児童自身に考えさせる。

⑱著作物を公開するためには

◆教材のねらい◆

対象:小学5年生～中学1年生

最近はSNSなどで自分の著作物を公開する子供も増えており、「自分の著作物をどのように公開するか」という送り手側の意識に



着目することも必要である。本教材では受け手・送り手両方の立場から、著作物を取り扱う際の注意点、公開範囲の違いによる法律やマナーの違いなどを考えさせる。

(参考) 平成26年・平成28年・平成31年作成動画教材

平成 26 年作成 8 本

平成 28 年作成 6 本

平成 31 年作成 2 本

小学1年～
小学4年生

小学5年～
中学1年生

中学2年～
高校3年生

ネット依存

過度なインターネットの利用(コンテンツ視聴やゲーム、SNS等)が生活習慣に支障を来すなど、日常生活に与える影響について考える。

教材1

26



ネットゲームに夢中になると...

教材16

31



スマートフォンやタブレットなどの使い過ぎ

教材2

26



身近にひそむネット依存

教材15

31



SNSを通じた出会いの危険性

ネット被害

ネット詐欺・不正請求、コンピュータウイルスの感染など、インターネットの利用を通じて、児童生徒がこれまでにない被害に巻き込まれている。

教材3

26



あかね
そのページ、確認しなくて大丈夫?

教材5

28



けいこ
軽い気持ちのID交換から...

教材4

26



ネット詐欺等に巻き込まれないようにするために

教材6

28



写真や動画が流出する怖さを知ろう

SNS等のトラブル

スマートフォンやSNS等の新たな情報通信技術の利用を通じたトラブルについて、相手とのやり取りの中で発生する問題について考える。

教材7

26



ひとりよがりの使い方にならないように

教材9

28



SNSへの書き込みの影響

教材8

26



情報の記録性、公開性の重大さ

教材10

28



軽はずみなSNSへの投稿

情報セキュリティ

IDとパスワードをはじめ、インターネット上で自身や他者の情報を守る時に必要となる情報セキュリティの問題について考える。

教材11

28



パスワードについて考えよう

教材12

28



大切な情報を守るために

適切なコミュニケーション

相手や状況に応じて、コミュニケーション手段を適切に選ぶことや相手への思いやりが必要であることを理解し、よりよい関係のあり方を考える。

教材13

26



うまく伝わったかな?

教材14

26



コミュニケーションの取り方を見直そう